

第2510地区 第11グループ



2006~2007

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2006~07年度
国際ロータリーのテーマ

率先しよう

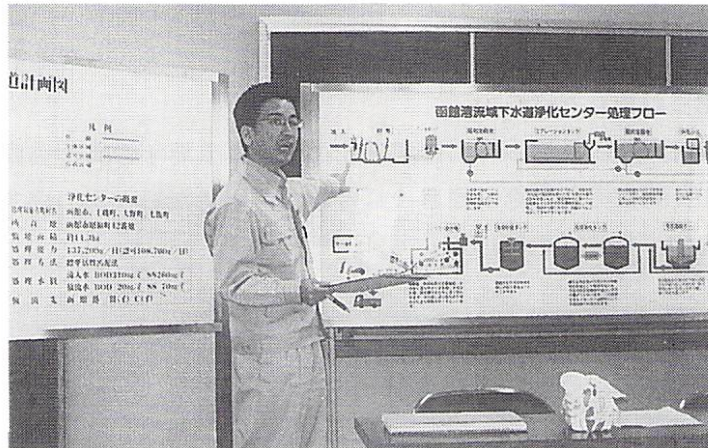


2006~07年度
国際ロータリー会長

ウィリアム B. ボイド

柴崎 晃 会長 テーマ

— 今、出来る事から始めよう —



10月11日 移動例会(函館湾流域下水道事務組合)

《第2078回例会》 第15号 10月18日(水)

本日のプログラム

夜間例会 第2回クラブアッセンブリー
「地区大会報告」

★会長 柴崎 晃 ★幹事 山下清司

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 二子口ビル4F TEL23-3870

◎国際ロータリー第2510地区 地区大会

とき：10月14日(土)(第1日目) 札幌市民会館
10月15日(日)(第2日目) ホテルライフフォート札幌



新世代セミナー会場
地区新世代副委員長

松見 修二 会員 講評並びに閉会挨拶

小笠原 孝 会員
米山奨学会メジャードナー表彰
おめでとうございます。



医療法人社団 藤 紀 会

齊 藤 内 科 医 院
消化器科

院 長 齊 藤 紀 一

函館市万代町 1 - 1 3 (ダイエー万代店横)

TEL (0138) 45 - 1118 (代)

(広告掲載：齊藤 紀一 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

◎9月27日出席報告

会 員	32名	出席率対象会員	31名
		出席規定免除会員	1名
		出席率規定免除会員	0名
当日出席	26名	当日欠席	5名
他クラブ出席	4名	出席合計	30名
出席率			96.77%

・テレフォンサービス(例会移動案内)電話 26 - 3170 番

次回・10月25日
プログラム

「新入会員卓話」

(株)イズミ鉄筋工業代表取締役 泉 彰 会員

10月11日の記録

◎司 会 柴崎 晃 会長

◎会長報告 柴崎 晃 会長

○理事会報告

1. 家族会の決算が出ております。親睦活動書から1060円の持ち出しとなりました。皆さんから又やりたいという話が出ております。
2. 地区大会の参加補助金が7000円となりました。
3. ハーフマラソンのメーキャップについては事後承諾ということで理事会で承認されました。
(収支決算は出来次第報告させていただきます。)
4. 社会奉仕委員会の今後の奉仕活動については、養老院の施設への花壇の設置をしたいということで例会扱いにしたいと考えております。時期は来春早々、暖かくなってからやりたいと思います。
5. 健康診断は11月8日、11時30分～12時30分に行いたいと思います。又、くわしい検査については、斉藤会員の所で別の日程でくんでいただきます。
6. 社会奉仕活動において、出席率がよいので食事代がかさんでおります。予算の関係上、各弁当は、委員会で出そうということでニコニコBOXから支出した方が一般会計が楽になりますということで理事会で承認されました。
7. 友好クラブの増田委員長にお願いし、台北東北クラブ25周年の実行委員会を立ち上げるということで、10月25日例会終了後第1回目の打合せ会を行いたいと思います。それまで人選を決めておきたいと思います。宜しくお願いします。

◎幹事報告 山下 清司 幹事

- 当クラブ次週の例会は夜間例会並びにクラブアッセンブリーとなっておりますので、多数ご参加下さい。
- 函館亀田R.C. 23日夜間例会、函館R.C. 26日夜間例会、函館五稜郭R.C. 27日移動例会に変更です。
- 地区大会参加の皆さんは、13日(金)午後6時ホテルライフオート札幌集合となっております。

◎親睦活動委員会 弗田 和則 副委員長

ニコニコBOX投入報告

今回は移動例会につきありません。

◎移動例会「函館湾流域下水道事務組合 下水道処理場」視察

担当の熊木係長さんより函館湾流域下水道について説明いただきました。(内容は別紙の通りです。) 現場工場視察の前にビデオにて、概略を説明していただきそのあと処理施設を見学、汚水が各処理施設を経過して、真水になる様子を見て感心しました。ただ飲用には出来ないということです。(もし飲んだ場合、下痢をする程度ということです。)

函館湾流域下水道について

函館圏の産業と経済の中心を担う函館湾は、天然の良港として知られ、安政6年(1859年)横浜、長崎とともに開港した歴史があります。

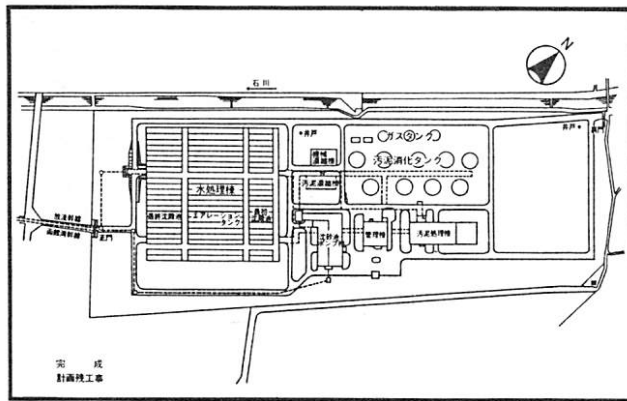
函館湾は、周辺海域の水産資源を利用した水産加工業と海上交通の地の利を生かした石油、重工業が発達しております。また、大野町、七飯町は渡島平野の温暖な気候と豊富な農業用水を利用して農畜産業が営まれています。

これらの地域からの生活排水、工場排水等の増加により函館海域の水質汚濁の悪化が予想され、昭和48年に函館海域に公害対策基本法に基づき、水質汚濁に関する環境基準が設定されました。

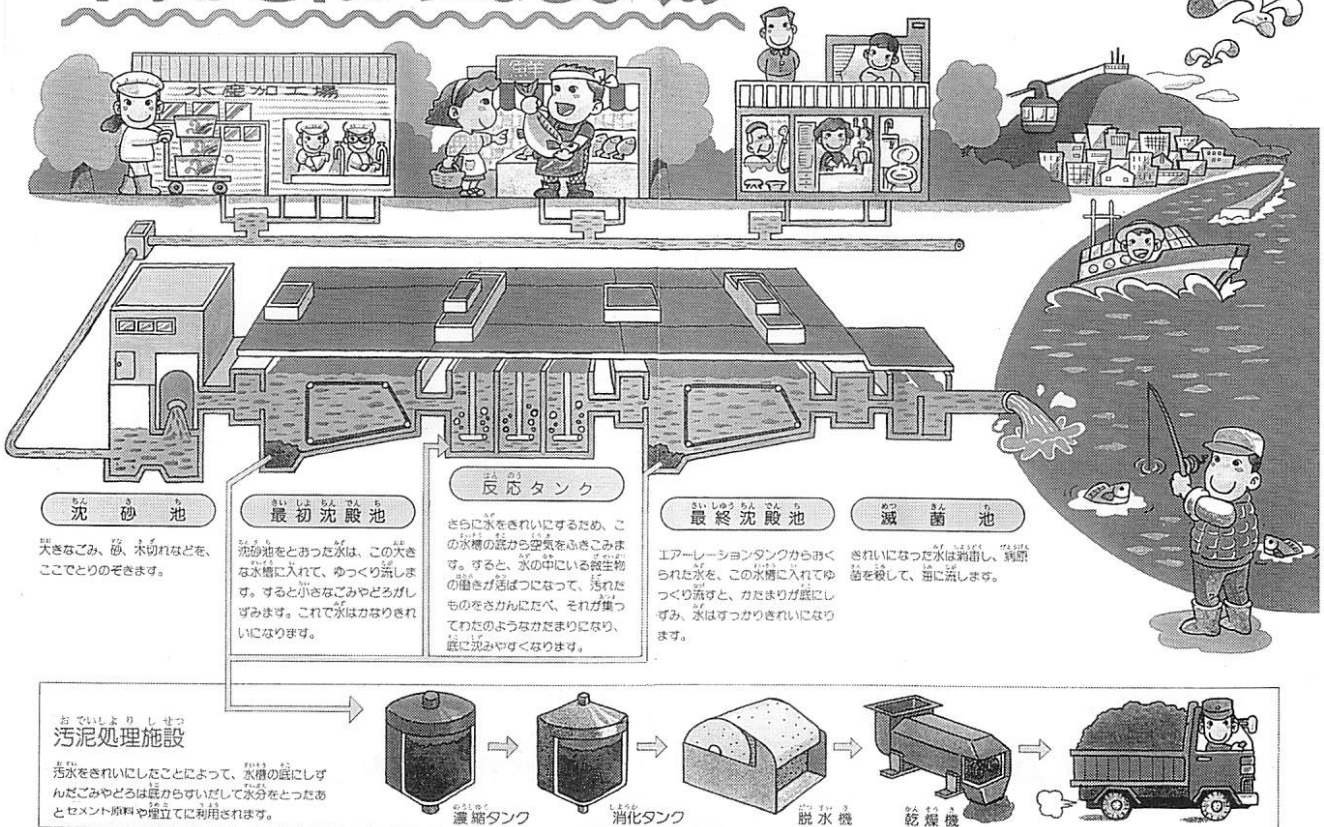
函館海域の水質汚濁の防止には、下水道の整備普及が急務とされ、下水道整備の方法としては、流域内の下水を広域的に集め、汚水を一括処理する流域下水道による整備が効果的であるとされ、函館湾流域下水道事業を計画したものであります。

函館湾流域下水道は、北海道が昭和55年度に事業に着手し、昭和58年度から幹線管渠の敷設に、昭和61年度から浄化センターの建設に着手し、平成2年3月1日に供用開始となり、函館湾の水質の保全と、函館市、上磯町、大野町および七飯町の公共下水道の整備により地域住民の生活環境改善を図り、函館圏域の基幹施設として地域発展に大きな役割を果たすものであります。

函館湾浄化センター平面図



下水がきれいになるしくみ



(会報担当者：藤田 正男 委員)